

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル10F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

経 営

新卒採用をサポートするスマホアプリで 応募者・内定者を簡単にきめ細かくフォロー

現在、新卒採用は売り手市場。優秀な人材に内定を出しても、電話1本で内定辞退されるケースは珍しくない。内定辞退を防止するには、内定者と緊密なコミュニケーションを図る必要があるが、人事部がなかったり、専任の担当がいなかったり、きめ細かくフォローすることも難しい。

そこで注目したいのが「内定者フォローSNS」。大手企業は早くから導入してきたが、最近は低価格サービスが増え、中小企業でも利用しやすくなっている。その一例が「ちゃくちゃくNEXT」だ。画像共有SNS「インスタグラム」や、無料通話・メッセージアプリ「LINE」を参考にした利用者限定サービスで、内定者が社内の雰囲気や仕事内容を把握できるほか、内定者同士のコミュニケーションも図ることができ、入社前の不安を解消することができる。

もちろん、企業側のメリットも大きい。内定者への連絡を効率化できるだけでなく、アクセス状況をチェックすることで、事前に内定辞退リスクを察知することも可能だ。インターンシップや会社説明会でつながりのできた学生をフォローすることもできる。料金は、PC管理画面利用料が1シーズン3万円、スマホアプリ利用料が5人までは1万5,000円、6人目からは1人5,000円。20人フォローでも合計12万円とリーズナブルで、30日間の無料お試しもあるので、質の高い新卒採用を効率化を進める手段として一度試してみてもいい。

税務会計

法人の申告漏れ総額、2年連続増加 6万9千件から総額8,312億円を把握

国税庁が公表した今年6月までの1年間(2015事務年度)における法人税調査事績によると、大口・悪質な不正計算が想定されるなど調査必要度の高い9万4千法人を实地調査した結果、うち約73%に当たる6万9千件から2年連続の増加となる総額8,312億円(前年比1.0%増)の申告漏れを見つけた。追徴税額は1,592億円。調査1件当たりの申告漏れ所得は888万円となる。

調査した19.7%(不正発見割合)に当たる1万8千件が故意に所得を仮装・隠ぺいするなどの不正を行っており、その不正脱漏所得は前年度比6.8%減の2,374億円で2年ぶりに減少。1件当たりでは1,285万円となった。

また、法人消費税については、法人税との同時調査で9万件の实地調査を実施。うち、5万2千件に非違があり、税額565億円を追徴した。

不正を業種別にみると、不正発見割合の高い10業種では、「バー・クラブ」が66.3%で14年連続のワースト1位。「バー・クラブ」は、近年25年間で24回1位(唯一2001年度がワースト2位)という不名誉な記録を持つワースト業種の常連。以下、「大衆酒場、小料理」(43.1%)、「パチンコ」(32.7%)と続く。また、1件当たりの不正所得金額が大きい10業種では、「民生用電気機械器具電球製造」が7,608万円で前年ランク外から1位、次いで、ランク上位常連の「パチンコ」(4,895万円)が2位、「水運」(3,836万円)の順だった。

今週のキーワード

新卒採用

企業側は、優秀な人材をいち早く確保するためにできるだけ早く内定を出そうとしてきたが、大学側は学業を優先させたいため、採用面接がスタートする「選考解禁日」は毎年変動してきた。この選考解禁日は経団連の自主的なルールなので法的な強制力はない。しかし、学生が最初に目指すのは、大半が大手企業。中小企業には、その結果次第でエントリーするのが一般的だ。そのため、中小企業は、経団連加盟企業の動向を受けてから対策を得なければならない。ちなみに、2017年4月入社の新卒採用は6月から。10月に内定式を行うことを考えれば、実質3カ月間しかない。そのため、学生にとっても企業側にとってもメリットとなる情報共有の仕組みが求められている。